

独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター HIV/AIDS包括医療センター

6月1日から7日はHIV検査普及週間

HIV検査普及週間においては、全国で検査の機会を広げるとともに、正しい知識の普及を目的とした取組が行われています。現在、新規感染者数はやや減少しているものの、エイズを発症してから発見される割合が約3割と高い状況が続いており、早期発見の重要性が改めて示されています。また、検査件数の伸び悩みも見られることから、夜間や休日の検査、迅速検査など、より利用しやすい体制づくりが求められています。

HIV感染症は、早期に発見し適切な治療を受けることで同世代と同等の寿命を生きることが可能であり、日常生活において他者に感染させることもありません。また、仕事を続けながら生活されている方も多くいらっしゃいます。

その一方で、HIV陽性者に対する差別や偏見への不安から、検査や受診をためらう方がいることも大きな課題です。

本週間が、気軽に検査を受けるきっかけとなるとともに、HIV感染症に対する理解を深め、差別や偏見について改めて考える機会となることを期待しています。

